

歴史的事象について考えたことを多面的・多角的に表現する児童の育成 —思考を整理していくノートの活用を通して—

特別研修員 社会 佐藤淳（小学校教諭）

児童の実態

歴史的事象についての思考の深まりと表現力に弱さが感じられる

教師の願い

授業で得た知識や気づきを効果的に整理して考えたことを、**多面的・多角的**に表現することができるようにしたい！

そこで提案します！



表現力の土台となる 思考を整理していくノート作り

『多面的』…様々な側面から見て捉えること
例：政治、経済、文化など
『多角的』…異なる立場から見て捉えること
例：政府（伊藤博文）、庶民、外国など

【手立て 1】

吹き出しに考えを蓄積していく活動

【手立て 2】

明確な視点を示し、**側面(面)**と**立場(角)**を意識させる活動

【手立て 3】

ホワイトボードで情報を整理していく活動

ノートを活用して思考を整理していった例
単元名「明治の国づくりを進めた人々」

左ページには、新たな知識、気づきや驚きなどを蓄積する

活動(思考)の流れ

① 知り得た**知識の整理**

② 気づき・驚き・疑問などを**可視化**

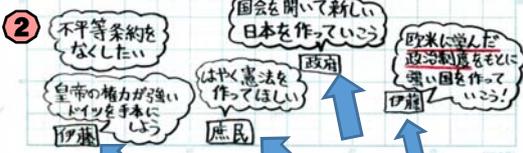
右ページでは、自分の考えを表現し、交流で得た新しい視点を盛り込んで思考を整理する

伊藤博文は、どんな考えや思いを持ち、大日本帝国憲法を作ったか

- ① これまでの流れと日本の立場
- ペリー来航による開国→欧米と **不平等** な条約
 - 欧米へ使節団を送る→ **政治制度** や工業を学ぶ
・不平等条約の改正を目指した
 - 東アジア全体が欧米諸国の **植民地** になりつつあった
 - 欧米諸国の基本である憲法や国会を持つ国を目指した

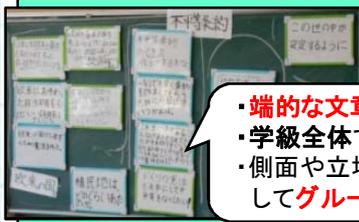
大日本帝国憲法と帝国議会

- ・皇帝の権力が強い **ドイツ** の憲法を手本にした
- ・主権者は **天皇** (統治や軍隊や条約に関する権限など)
- ・帝国議会は貴族院と衆議院で構成
- ・選挙権を持つ人は約 **1.1%** (現在は 80% 以上)



側面や立場といった視点を明確化

☆自分の見方や考え方に改めて気づくことができた!
☆様々な立場や側面を想像して考えることができた!



・端的な文章で記述
・学級全体で確認
・側面や立場で整理して**グループ化**

③ 吹き出しを基にして **考えをまとめる**

☆吹き出し(自分の考え)があるのでスムーズに取り組めた!

④ 伝え合う活動を経て **再構成**

☆交流で得た新しい視点を活用することができた!

⑤ 学習のまとめと振り返り

③ 伊藤の目指した国づくりは...
欧米の国々から学んだ**政治制度**を生かして、国会を開き、新しい国づくりを目指したと思います。
なぜなら、**不平等条約をなくしたい**と考えていたと思うからです。

キーワード：天皇中心の強い国、お本になる国、富国強兵、近代化、欧米に認められる国

④ 私は欧米の国々から学んだ**政治制度**を生かして天皇中心の強い国を作るために**憲法**や**議会**を作ったと思います。
なぜなら、はやく欧米に認められる国になって、**不平等条約を取り下げてほしい**と考えたと思うからです。

まとめ

欧米に追いつくために **認められる** 天皇中心の国

⑤ 伊藤博文のおかげで日本にも近代的な政治制度ができたので、条約の改正もかなり近くなったのではないかな?

多面的・多角的な見方を表現に生かす

成果

- 吹き出しを読み返すことで、自分の思考の変化や深まりを実感することができた。
- 側面や立場の違いに視点を当てることで、歴史的事象を多面的・多角的に捉え、様々な立場、場面を想像して表現することができた。

課題

- 知り得た知識や気づきを整理し、自分の考えとして表現するには、効果的な根拠を選んで文章を構成していく必要がある。